

令和3（2021）年度 当初予算の概要



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

目 次

令和3年度予算	1
一般会計歳入の概要	
市税	2
地方交付税	3
県支出金	3
繰入金	4
使用料・手数料	4
分担金及び負担金	5
その他	5
国庫支出金	2
市債	3
地方消費税交付金	4
諸収入	4
繰越金	4
地方譲与税	5
一般会計歳出の概要（目的別）	
民生費	7
教育費	8
土木費	9
消防費	9
農林水産業費	10
予備費	11
衛生費	7
総務費	8
公債費	9
商工費	10
議会費	10
一般会計歳出の概要（性質別）	
人件費	13
公債費	13
維持補修費	13
繰出金	14
災害復旧事業費	14
投資・出資・貸付金	14
扶助費	13
物件費	13
補助費等	13
普通建設事業費	14
積立金	14
予備費	14
令和3年度の主な取り組み	17
基金残高の推移	25
市債の借り入れ状況	26
令和3年度下水道事業会計予算	29
令和3年度水道事業会計予算	30

令和3年度予算

令和3年度一般会計予算は前年度から12.4%増の463億8000万円

市の令和3（2021）年度当初予算が、3月の定例市議会で可決されました。

一般会計は、前年度に比べ12.4%増の463億8000万円となりました。

一般会計に3つの特別会計と公営企業会計である下水道事業会計、水道事業会計を加えた予算総額は、前年度に比べ45億7553万円増の801億4168万円となりました。

予算規模の対前年度比較

（単位：千円）

会計名	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	増減額	対前年度 比率%
一般会計	46,380,000	41,250,000	5,130,000	12.4
特別会計	25,729,000	25,986,000	△257,000	△1.0
国民健康保険事業特別会計	12,362,000	12,453,000	△91,000	△0.7
介護保険特別会計	11,050,000	11,272,000	△222,000	△2.0
後期高齢者医療特別会計	2,317,000	2,261,000	56,000	2.5
公営企業会計	8,032,685	8,330,152	△297,467	△3.6
下水道事業会計	4,576,156	4,653,461	△77,305	△1.7
水道事業会計	3,456,529	3,676,691	△220,162	△6.0
合計	80,141,685	75,566,152	4,575,533	6.1

※ 公営企業会計の予算額は事業費用と資本的支出の合計としています。

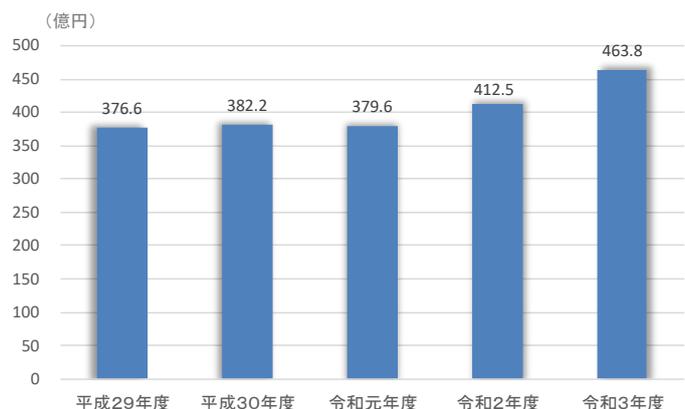
一般会計予算規模の推移

一般会計予算が51億3000万円増額となったのは、主に新クリーンセンター建設工事費の増加によるものです。

国民健康保険事業特別会計は、被保険者数の減少などに伴い保険給付費が減額となることなどから、対前年度比0.7%の減となっています。

介護保険特別会計は、介護保険事業計画の見直しに伴い保険給付費が減額となることなどから、対前年度比2.0%の減となっています。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合に対する納付金が増額となることなどから、対前年度比2.5%の増となっています。



・ 一般会計歳入の概要

市税 165 億 851 万円 対前年度比 △4.0%

市の収入の中心で、地方税法、市税条例により、住民や企業などから納めていただいています。

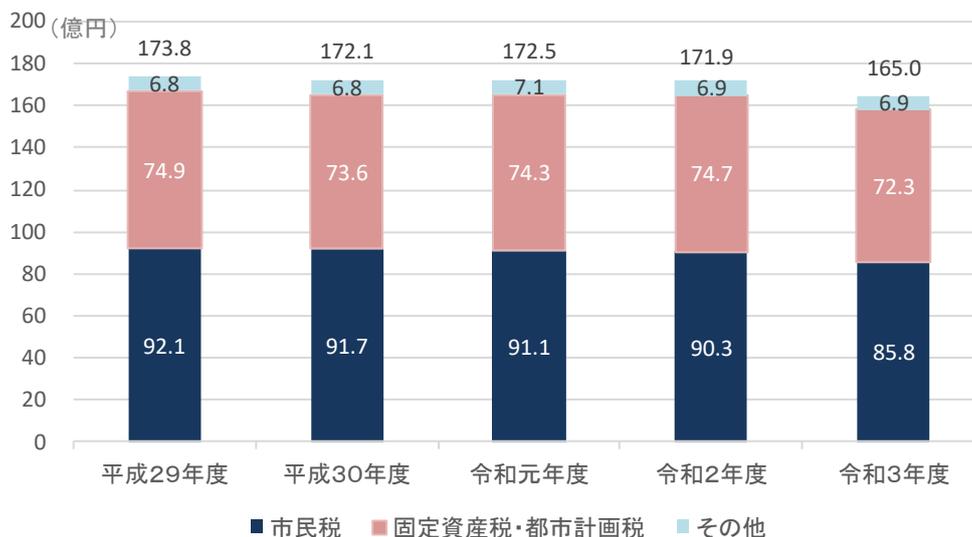
【内訳】

市民税	85 億 8162 万円	市たばこ税	5 億 2481 万円
固定資産税	59 億 3006 万円	軽自動車税	1 億 7678 万円
都市計画税	12 億 9524 万円		

【主な減理由】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による個人市民税・法人市民税の減や、土地・家屋の評価替えによる固定資産税の減

市税の推移



※令和元年度までは決算額、2年度以降は予算額

国庫支出金 88 億 9296 万円 対前年度比 27.3%

特定の事業の経費に充てるために、国から交付される財源です。児童福祉費、生活保護費、障害者自立支援費などの経費に充てられます。

【主な増理由】

新クリーンセンター建設事業費の増に伴う廃棄物処理施設整備事業補助金の増

地方交付税 66億1633万円 対前年度比 73.5%

全国の市町村の行政サービスの均衡を図るため、各自治体の財政力に応じて、国から使い方を特定せずに交付されます。

なお、震災復興特別交付税については、東日本大震災による被災団体に対して復興経費などの事業費分が交付されます。

【内訳】

普通交付税	36億5000万円
特別交付税	1億4000万円
震災復興特別交付税	28億2633万円

【主な増理由】

2年度の交付実績や国の地方財政対策などを踏まえた普通交付税の増、新クリーンセンターの建設に係る震災復興特別交付税の増

市債 42億8930万円 対前年度比 31.9%

施設を建設する場合など一時に多額の経費を必要とし、長期間にわたって利用できる事業の財源として借り入れます。

また、財政運営のため、地方交付税の代替財源として発行している臨時財政対策債なども含まれます。

【主な内訳】

新クリーンセンターの整備	9億1280万円
湖北台保育園の再整備	2億1270万円
生涯学習センター空調設備の改修など	1億9040万円
我孫子駅構内エレベーター等の整備	1億5000万円
近隣センターの改修	1億2960万円
手賀沼公園・久寺家線の整備	1億1410万円
臨時財政対策債	22億円

【主な増理由】

新クリーンセンター建設事業に係る一般廃棄物処理施設整備事業債や臨時財政対策債の増

県支出金 29億7223万円 対前年度比 0.8%

特定の事業の経費に充てるために、県から交付される財源です。

【主な増理由】

衆議院議員選挙の執行に伴う衆議院議員選挙執行委託金や利用者数の増加などに伴う障害者自立支援費負担金の増

地方消費税交付金 26億2000万円 対前年度比 4.8%

消費税率10%のうち、2.2%相当額が地方消費税として国から県に交付されます。その2分の1が人口や従業者数の割合により、市に交付されます。

【主な増理由】

令和2年度決算見込みの反映による増

繰入金 12億4053万円 対前年度比 18.7%

財源調整のために積み立てている財政調整基金や、特定の目的のために積み立てている基金などから繰り入れます。

【主な増理由】

清掃工場建設基金繰入金や財政調整基金繰入金の増

諸収入 9億8838万円 対前年度比 △23.4%

特定の歳入のための科目ではなく、他の収入科目に含まれない収入をまとめた科目です。

【主な減理由】

我孫子駅前土地区画整理事業清算徴収金の減

使用料・手数料 5億7003万円 対前年度比 △4.3%

使用料は、市民体育館使用料のように、市民が市の施設を利用したときに、手数料は、住民票の交付などのように、市民が市から特別のサービスを受けたときにそれぞれその対価として徴収します。

【主な減理由】

新クリーンセンターの建設に伴うごみの直接搬入の停止によるごみ手数料の減

繰越金 5億円 対前年度比 28.2%

前年度の決算で残る見込額を、翌年度に繰り越すものです。

【主な増理由】

前年度決算における実質収支の1/2を計上する方式から、全額を計上する方式に改めたことによる増

分担金・負担金 4億2313万円 対前年度比 0.3%

市の行う事業等によって特定の利益を受ける者から徴収するもので、保育園保育料などがあります。

【主な増理由】

入園見込み者数の増加に伴う私立保育園保育料の増

地方譲与税 2億6700万円 対前年度比 △8.2%

本来市税となる財源をいったん国税として徴収し、市に譲与されます。

【内訳】

自動車重量譲与税	1億9200万円
地方揮発油譲与税	6400万円
森林環境譲与税	1100万円

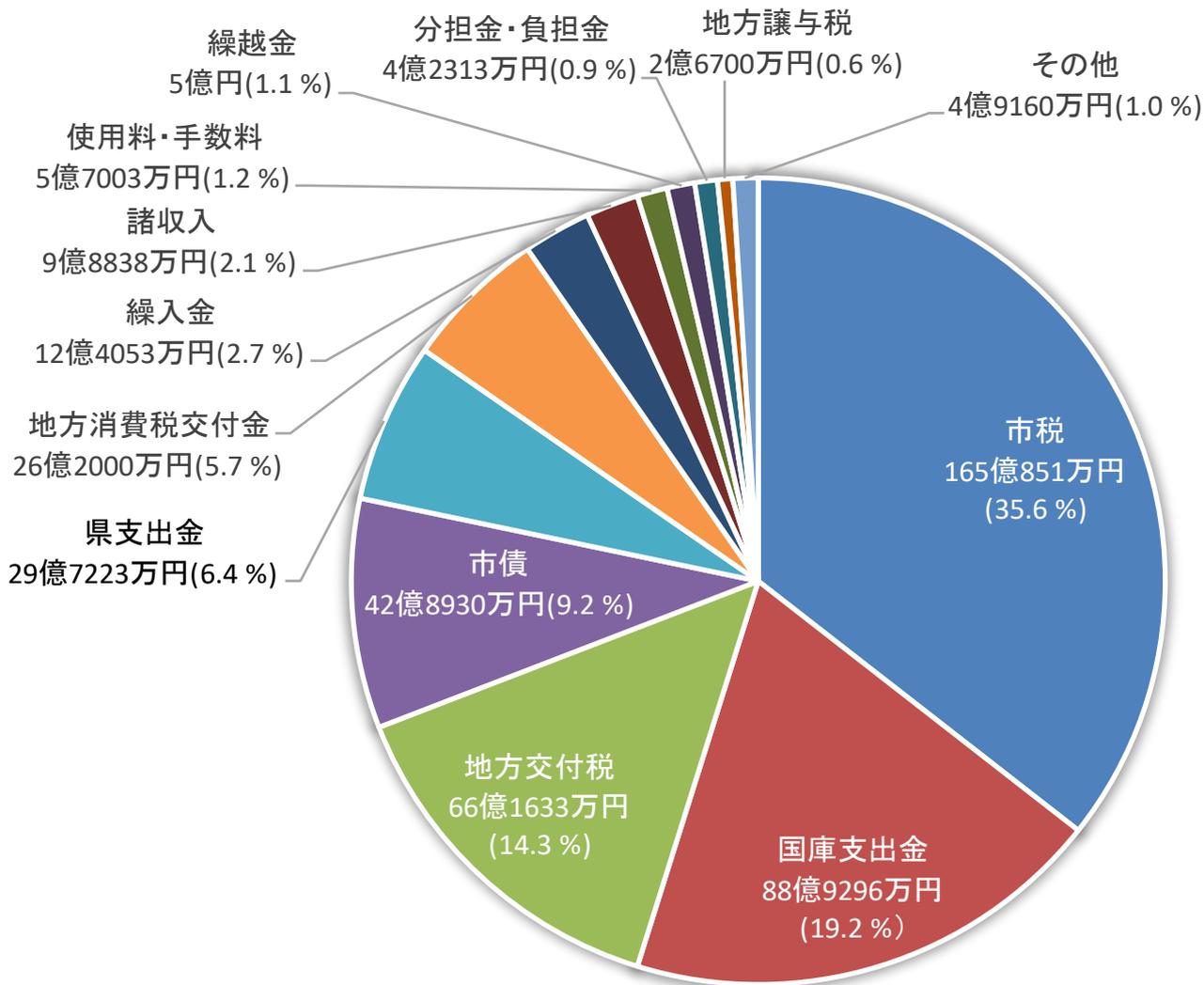
その他 4億9160万円 対前年度比 △4.7%

利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、ゴルフ場利用税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、財産収入、寄附金の合計です。

★一般会計歳入予算の内訳<令和3年度構成比順>

名称	令和3年度 予算額	構成比 (%)	令和2年度 予算額	構成比 (%)	対前年度 増減率 (%)
市税	165億851万円	35.6	171億9812万円	41.7	△4.0
国庫支出金	88億9296万円	19.2	69億8738万円	16.9	27.3
地方交付税	66億1633万円	14.3	38億1356万円	9.2	73.5
市債	42億8930万円	9.2	32億5273万円	7.9	31.9
県支出金	29億7223万円	6.4	29億4793万円	7.2	0.8
地方消費税交付金	26億2000万円	5.7	25億円	6.1	4.8
繰入金	12億4053万円	2.7	10億4534万円	2.5	18.7
諸収入	9億8838万円	2.1	12億9050万円	3.1	△23.4
使用料・手数料	5億7003万円	1.2	5億9557万円	1.4	△4.3
繰越金	5億円	1.1	3億9000万円	1.0	28.2
分担金・負担金	4億2313万円	0.9	4億2177万円	1.0	0.3
地方譲与税	2億6700万円	0.6	2億9100万円	0.7	△8.2
その他	4億9160万円	1.0	5億1610万円	1.3	△4.7
合計	463億8000万円	100.0	412億5000万円	100.0	12.4

★一般会計歳入予算の構成<構成比順>



一般会計歳出の概要(目的別)

※「目的別」分類とは、行政分野ごとの予算の比重を明らかにするための分類方法です。

民生費 191 億 2992 万円 対前年度比 2.2%

第5次健康福祉総合計画に基づく事業をはじめ、高齢者や障害者、児童などの社会福祉の充実を図り、必要な支援を行うための経費です。

【主な増理由】

湖北台保育園の再整備に伴う工事費の増、利用者数の増加などに伴う障害者自立支援給付費の増

【主な事業】

生活保護費の支給	26 億 2668 万円
障害者への介護給付費の支給	22 億 9577 万円
私立保育園等への児童保育の委託	20 億 6333 万円
介護保険特別会計への繰出金	17 億 6162 万円
児童手当の支給	17 億 438 万円
後期高齢者医療広域連合への負担金	13 億 4282 万円
国民健康保険事業特別会計への繰出金	7 億 4447 万円
子ども・子育て支援給付費の支給	5 億 9034 万円
特定教育・保育施設等への補助	4 億 6832 万円
児童発達への支援	4 億 3293 万円
子ども医療費の助成	3 億 4290 万円
児童扶養手当の支給	3 億 1736 万円



衛生費 94 億 3100 万円 対前年度比 126.2%

ごみ処理や環境対策、病気予防のための各種健診など、衛生的で健康な生活の維持・向上を図るための経費です。

【主な増理由】

新クリーンセンター建設工事費の増

【主な事業】

新クリーンセンターの整備	60 億 6692 万円
資源回収及び処理（生ごみの資源化分を含む）	4 億 5160 万円
各種予防接種の委託など	3 億 3324 万円
剪定枝木等のチップ化事業（放射能対策分）	3 億 1428 万円
焼却施設の維持管理（焼却炉運転業務など）	2 億 2303 万円
焼却施設の維持補修（焼却炉の補修など）	1 億 9849 万円
特定健診・長寿健診の委託など	1 億 9573 万円
家庭ごみ収集業務の委託など	1 億 8911 万円
廃棄物の運搬処分業務の委託など	1 億 8292 万円



教育費 43億2845万円 対前年度比 △3.1%

教育委員会に係る予算で、小・中学校の運営、社会教育事業、生涯学習センター、公民館、図書館、文化・スポーツ事業などの経費です。

【主な減理由】

市民体育館大規模改修工事の完了による減

【主な事業】

幼稚園の振興 （施設型給付費や私立幼稚園就園奨励費補助金など）	7億3912万円
学校給食の運営（人件費・維持費は除く）	4億4676万円
生涯学習センターの維持管理	2億3547万円
小学校施設の維持管理	2億4683万円
小学校の運営	2億3753万円
小・中学校コンピュータ教育	1億4211万円
児童生徒就学援助費などの教育扶助費の支給	1億3894万円
中学校の運営	1億2562万円
市民体育館の管理・運営	1億766万円
中学校施設の維持管理	9991万円

総務費 41億3770万円 対前年度比 7.6%

主に市の管理的業務を行う経費と、近隣センターや防犯対策など、他の経費に区分できない経費です。

【主な増理由】

財政調整基金積立金や近隣センター施設整備工事費の増

【主な事業】

電算の管理運営	4億2730万円
市民・近隣センター等の維持・管理運営	3億5783万円
庁舎等の維持管理	3億2161万円
財政調整基金への積立金	2億5000万円
東葛中部地区総合開発事務組合に係る負担金	1億2475万円
個人番号カードに係る事務	1億1819万円
市税の徴収事務	7205万円
我孫子市民プラザの管理運営	6399万円
庁舎等の維持補修	5496万円



土木費 33 億 4614 万円 対前年度比 △16.3%

道路、区画整理、公園、排水対策、交通計画など、快適なまちづくりのための環境整備の経費です。

【主な減理由】

我孫子駅前土地区画整理事業清算交付金や下新木踏切道に係る踏切改良工事負担金の減

【主な事業】

下水道事業会計への補助金・出資金・負担金	7 億 7278 万円
道路の維持補修	4 億 595 万円
我孫子駅構内エレベーター等の整備に係る負担金	2 億円
公園の維持管理	1 億 8298 万円
自転車等の駐車対策 (自転車駐車場の管理運営・放置自転車の撤去など)	1 億 6095 万円
道路の維持管理	1 億 4351 万円
手賀沼公園・久寺家線の整備	1 億 3772 万円
排水施設の維持管理	6710 万円
市民バスの運行	6688 万円
排水施設の維持補修	6369 万円

公債費 31 億 8793 万円 対前年度比 △0.2%

市債として借りた資金に利子を付けて返済するための経費です。

【主な減理由】

我孫子駅北口駅前広場の道路整備に活用した臨時地方道路整備事業債などの償還完了による減

【主な事業】

市債の元利償還金など	31 億 8793 万円
------------	--------------

消防費 17 億 1794 万円 対前年度比 △1.4%

防火、救急業務など、市民生活の安全を守るための経費です。

【主な減理由】

高規格救急自動車の更新完了による減

【主な事業】

消防通信指令業務の共同運用	9906 万円
水槽付き消防ポンプ自動車の更新	7006 万円
消防団の活動	2198 万円
消防本部の運営	2063 万円
消防施設の整備	1964 万円
消防庁舎の維持管理	1937 万円

商工費 3億3964万円 対前年度比 △7.4%

商業や工業の振興、観光事業、消費生活の向上のための経費です。

【主な減理由】

一般職人件費や中小企業融資利子補給金の減

【主な事業】

中小企業に対する資金融資	1億3321万円
アビシルベ（インフォメーションセンター）の運営	2568万円
商工会の育成に係る補助	1006万円
手賀沼周遊レンタサイクル等の運営	876万円
商業の振興	640万円
地域職業相談室の運営	509万円
工業の振興	316万円

農林水産業費 3億1084万円 対前年度比 △11.7%

農業用水の排水機場の維持管理や農業の振興、農業委員会の運営などの経費です。

【主な減理由】

青山排水機場の災害復旧事業に係る負担金の減

【主な事業】

各排水機場の維持管理負担金など	7020万円
手賀沼沿い農地の活用	2056万円
幹線排水路の維持管理に係る負担金	1165万円
新規就農者への支援	906万円
地産地消の推進	787万円
農地の利用集積の推進	736万円
農道の整備	631万円
有機栽培等農業者への支援	595万円

議会費 3億44万円 対前年度比 △1.7%

議員報酬や議会事務などの議会活動に要する経費です。

【主な減理由】

特別職人件費や一般職人件費の減

【主な事業】

議員報酬（手当・共済費を含む）	2億2488万円
議会の事務運営	1555万円

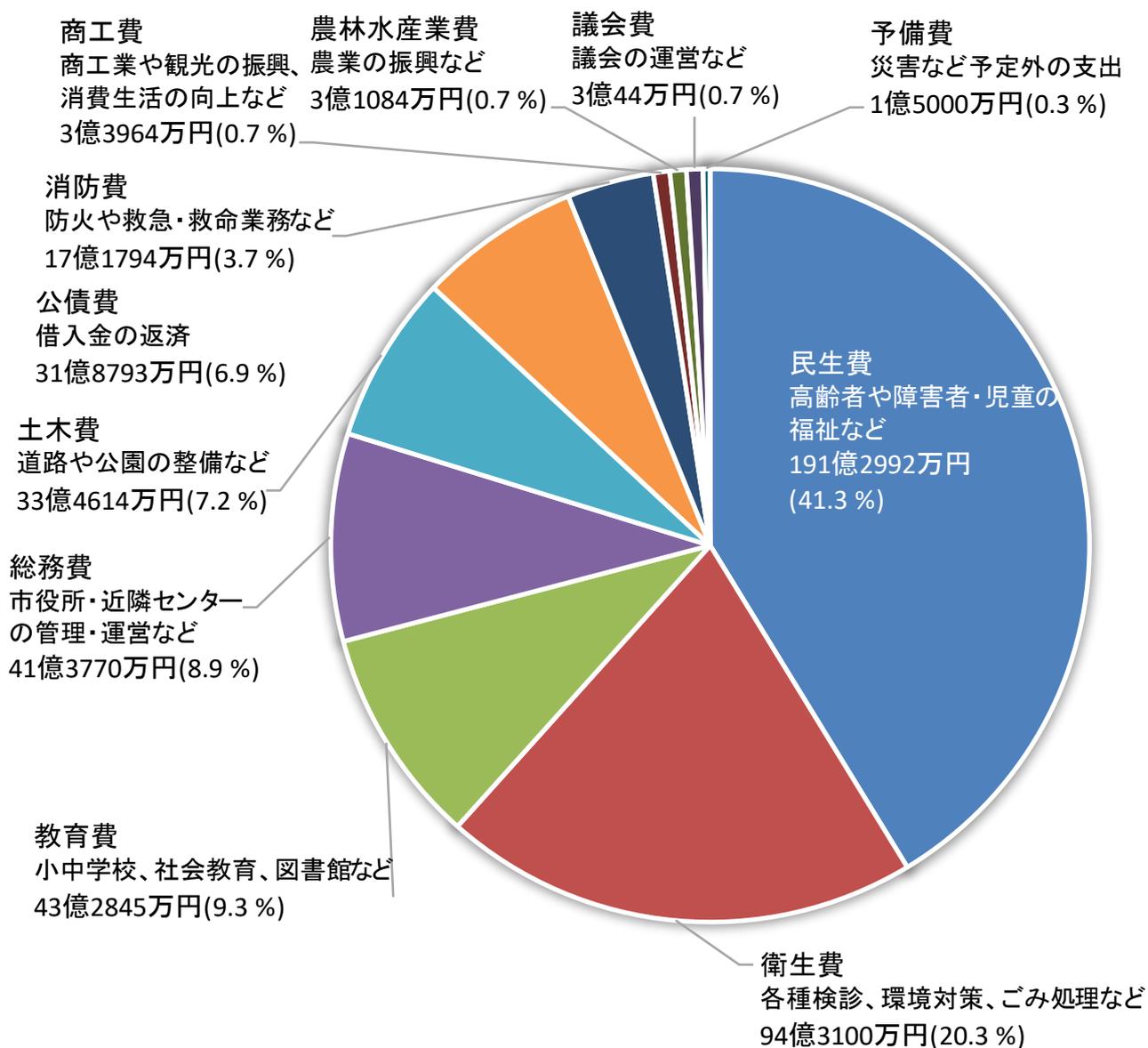
予備費 1億5000万円 対前年度比 50%

災害など予定外の支出に備えるための経費です。

★一般会計目的別歳出予算の内訳<令和3年度構成比順>

名称	令和3年度 予算額	構成比 (%)	令和2年度 予算額	構成比 (%)	対前年 度増減 率 (%)
民生費	191億2992万円	41.3	187億962万円	45.4	2.2
衛生費	94億3100万円	20.3	41億6952万円	10.1	126.2
教育費	43億2845万円	9.3	44億6624万円	10.8	△3.1
総務費	41億3770万円	8.9	38億4464万円	9.3	7.6
土木費	33億4614万円	7.2	39億9909万円	9.7	△16.3
公債費	31億8793万円	6.9	31億9376万円	7.8	△0.2
消防費	17億1794万円	3.7	17億4261万円	4.2	△1.4
商工費	3億3964万円	0.7	3億6674万円	0.9	△7.4
農林水産業費	3億1084万円	0.7	3億5210万円	0.9	△11.7
議会費	3億44万円	0.7	3億568万円	0.7	△1.7
予備費	1億5000万円	0.3	1億円	0.2	50.0
合計	463億8000万円	100.0	412億5000万円	100.0	12.4

★一般会計歳出予算（目的別）の構成＜構成比順＞



・ 一般会計歳出の概要(性質別)

※「性質別」分類とは、一般に財務体質を明らかにするための分類方法です。

※「性質別」分類は、毎年決算において、国が定めた全国一律の基準にあてはめて分類します。そのため、当初予算においては概算的な分類となっています。

人件費 86 億 7847 万円 対前年度比 △1.6%

常勤一般職及び会計年度任用職員の人件費、市長や議員、各種委員報酬などの経費です。

【主な減理由】

人事院勧告の反映による改定や新陳代謝による減

扶助費 116 億 9259 万円 対前年度比 1.8%

社会保障制度の一環として法令などにに基づき、被扶助者に対して支出する経費です。

【主な増理由】

障害者自立支援給付費や私立保育園委託料の増

公債費 31 億 8793 万円 対前年度比 △0.2%

市債として借りた資金に利子を付けて返済するための経費です。

物件費 72 億 6515 万円 対前年度比 △0.6%

消耗品費・光熱水費・印刷製本費などの需用費、委託料、賃金、使用料、備品購入費などの経費です。

【主な減理由】

検（健）診業務委託料などの減

維持補修費 2 億 7932 万円 対前年度比 11.0%

公共施設等を保全し、維持するための経費です。

補助費等 24 億 5841 万円 対前年度比 △14.2%

補助金や負担金、報償費、公課費（自動車重量税など）などの経費です。

【主な減理由】

我孫子駅前土地区画整理事業清算交付金や下新木踏切道改良工事負担金の減

繰出金 41 億 377 万円 対前年度比 1.7%

特別会計を運営するために、特別会計に対して支出する経費です。

【主な増理由】

後期高齢者医療特別会計繰出金の増

普通建設事業費 80 億 8348 万円 対前年度比 178.3%

道路、公園、公共施設の新・増築などの建設事業に要する経費です。

【主な増理由】

補助事業は、新クリーンセンター建設工事費の増加による増

単独事業は、湖北台保育園の再整備の実施による増

災害復旧事業費 111 万円 対前年度比 △96.1%

災害によって生じた被害の復旧に要する経費です。

【主な減理由】

青山排水機場の災害復旧事業に係る負担金の減

積立金 2 億 6803 万円 対前年度比 778.4%

将来の支出に備えて各種基金へ積み立てるために支出する経費です。

投資・出資・貸付金 2 億 1174 万円 対前年度比 △7.5%

関係機関などに対して支出する出資金や中小企業資金融資資金などの貸付金です。

【主な減理由】

下水道事業会計出資金の減

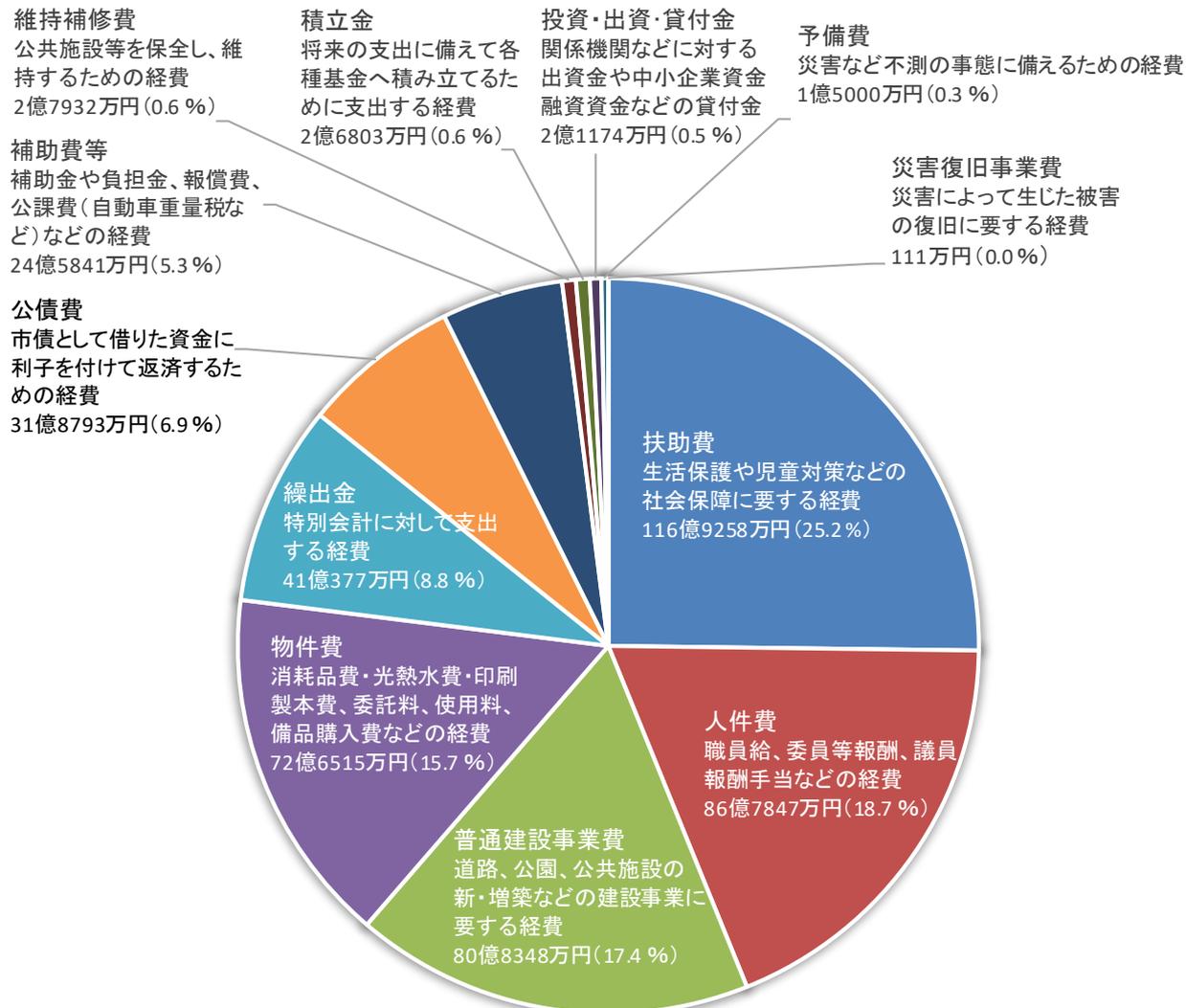
予備費 1 億 5000 万円 対前年度比 50.0%

災害など不測の事態に備えるための経費です。

★一般会計性質別歳出予算の内訳

区分	令和3年度 予算額	構成比 (%)	令和2年度 予算額	構成比 (%)	対前年度 増減率 (%)
人件費	86億7847万円	18.7	88億2002万円	21.4	△1.6
扶助費	116億9259万円	25.2	114億8528万円	27.9	1.8
公債費	31億8793万円	6.9	31億9377万円	7.7	△0.2
義務的経費計	235億5899万円	50.8	234億9907万円	57.0	0.3
物件費	72億6515万円	15.7	73億701万円	17.7	△0.6
維持補修費	2億7932万円	0.6	2億5164万円	0.6	11.0
補助費等	24億5841万円	5.3	28億6653万円	7.0	△14.2
繰出金	41億377万円	8.8	40億3353万円	9.8	1.7
普通建設事業費 うち(補助事業)	80億8348万円 (60億8508万円)	17.4 (13.1)	29億420万円 (9億3340万円)	7.0 (2.2)	178.3
うち(単独事業)	(19億9840万円)	(4.3)	(19億7080万円)	(4.8)	
災害復旧事業費 うち(補助事業)	111万円 (81万円)	0.0 (0.0)	2858万円 (2808万円)	0.1 (0.1)	
うち(単独事業)	(30万円)	(0.0)	(50万円)	(0.0)	△96.1
投資的経費計	80億8459万円	17.4	29億3278万円	7.1	175.7
積立金	2億6803万円	0.6	3052万円	0.1	778.4
投資・出資・貸付金	2億1174万円	0.5	2億2892万円	0.5	△7.5
予備費	1億5000万円	0.3	1億円	0.2	50.0
その他計	6億2977万円	1.4	3億5944万円	0.8	75.2
合計	463億8000万円	100.0	412億5000万円	100.0	12.4

★一般会計歳出予算（性質別）の構成＜構成比順＞



令和3年度の主な取り組み

5つの重点プロジェクトに沿って我孫子ならではの資源をいかして事業を確実に進めていきます。オリンピック聖火リレーやパラリンピック採火式など、心に残る機会を積極的に作ります。また、新型コロナウイルス感染症対策については、予算の補正を行い、引き続き、感染拡大の防止、市民生活を支える対策に取り組んでいきます。

● 5つの重点プロジェクト

プロジェクト ①

手賀沼をはじめとする我孫子ならではの自然を大切に、環境にやさしい暮らしをはぐくむまちづくり

新クリーンセンターの整備事業 60億6752万5000円 クリーンセンター

令和5年度の稼働に向け、新廃棄物処理施設の整備工事を進めます。また、建設に伴う環境影響事後調査、ごみ混入土の選別工事等も実施します。

省エネルギー化の推進 8266万3000円

○街路灯補助金の交付（街路灯維持管理設置補助金） 579万2000円 道路課

自治会が管理する街路灯の付け替えや新設、維持管理費用への補助を行い、全街路灯のLED化を目指します。

○街路灯の新設及び維持管理 6264万3000円 道路課

LED化が完了した自治会が管理する街路灯の管理・運営を順次、市へ移管しています。

○あびこエコ・プロジェクトの推進 237万8000円 手賀沼課

地球温暖化の原因となる温室効果ガス量を削減するため、電気や燃料使用量の節減などの省エネルギーの取り組みを推進します。

○住宅用省エネルギー設備導入促進事業 1185万円 手賀沼課

住宅用省エネルギー設備の設置への補助を、引き続き行います。

プロジェクト ②

我孫子の資源をいかし、豊かな地域を創りだす活力あるまちづくり

あびこの魅力発信（シティプロモーションの推進） 470万7000円

秘書広報課（あびこの魅力発信室）

若者定住化や交流人口の拡大を図るため、引き続き、我孫子の魅力を市内外に積極的に発信します。

文化財の保存と活用 1004万1000円 文化・スポーツ課

文化財の保存を行うとともに、敷地内の公開や企画展などのイベントを通じて、PRしていきます。

○旧井上家住宅の保存と活用 807万9000円

電気引込線改修工事及び警備設備撤去工事を実施します。

○文化財施設の管理・活用 196万2000円

志賀直哉邸では書斎の修繕工事を実施し、文化財整理室では、照明更新工事を実施します。

農業支援 357万7000円 農政課

○植物防疫業務 353万円

カメムシによる水稲の被害を抑制するため、無人航空機を使用した防除費用の一部を支援します。

○農業用排水施設維持管理 4万7000円

国営総合農地防災事業に基づき、農業用排水施設としての排水機場、幹線排水路を適正に維持していくため、対象となる農業者の同意徴集を行います。

企業が進出・操業しやすい環境づくり 300万円

企業立地推進課

雇用の創出による地域の活性化を目指し、企業が進出しやすい環境づくりを推進していきます。3年度は、新たに市内に支社等オフィスを開設する事業者、本社を移転する事業者に対して、オフィス開設に係る費用等の一部を補助します。

商店街の活性化の推進 14万円 商業観光課

関係機関と連携・協力し、商業活性化策を検討します。3年度は4年度を開始年度とする（仮称）商業観光方針を策定するための検討会を開催します。

手賀沼周辺のにぎわいづくり 375万4000円

○手賀沼遊歩道の再整備 117万7000円 公園緑地課

経年劣化による損傷や樹木の根による隆起など、傷んだ路面の舗装修繕工事を実施します。

○公園施設維持管理 173万円 公園緑地課

朝夕でも手賀沼公園を安全に利用できるよう、芝生広場の園路灯をLED照明に交換する工事などを実施します。

○観光振興策の推進 30万7000円 商業観光課

農産物直売所アンテナショップ跡地の土地利用のため、公募により選定された活用事業者への貸付を開始するまでの期間において、維持管理に必要な草刈作業を行います。

○街路灯の新設及び維持管理 54万円 道路課

手賀大橋ライトアップを行います。

生涯学習センターアピスタの維持管理 1億5214万7000円 生涯学習課

空調設備改修工事を実施するほか、火災受信盤更新工事に向けた設計を行います。

プロジェクト ③

みんなが安全にくらせるまちづくり

災害予防・初動対策事業 708万4000円 市民安全課

○地域防災計画の修正 589万6000円

災害発生時の初動体制の強化として、地域防災計画の修正を行います。

○あびこハザードマップの増刷 118万8000円

水害対策 6億5815万2000円 治水課

○布佐排水区の整備 2億3230万2000円

雨水幹線工事等を引き続き実施します。

○若松第1～第5排水区の整備 1億4920万円

バイパス管工事等を引き続き実施します。

○柴崎排水区の整備 2億7665万円

幹線整備工事やJR横断部基本設計等を行います。

プロジェクト ④

若い世代に選ばれるまちづくり

若い世代の定住化と少子化対策への取り組み 4130万2000円

○若い世代の住宅取得支援 1906万8000円 建築住宅課

若い世代や子育て世代の住宅取得に対して補助を行います。

○結婚相談事業への支援 190万2000円 子ども支援課

我孫子市社会福祉協議会が実施する結婚相談事業を支援します。

○産後ケア事業 1803万7000円 健康づくり支援課

産後ケア事業と産婦健康診査を引き続き実施します。

○妊婦・乳児健康診査等 229万5000円 健康づくり支援課

令和3年度から県内統一で実施する新生児聴覚検査を行います。

保育園・幼稚園などの充実 3億1000万1000円 保育課

○子育て支援拠点事業 6892万3000円

4か所ある子育て支援拠点施設について、このうち2か所は7月から市の補助金を活用し、私立保育園が運営を行い、残りの2か所は引き続き、市が直接運営を行います。

○私立保育園運営費補助金交付事業 472万4000円

私立保育園のICT化及び翻訳機購入に対して補助金を交付します。

○湖北台保育園の再整備 2億3635万4000円

老朽化が著しい湖北台保育園について、子育て拠点施設を併設した複合施設として、新園舎等建替工事を進めます。

地域公共交通協議会の運営 80万円 交通課

(仮称) シャトルバスの新たな路線導入に向けた試験運行を行います。

駅構内バリアフリー施設等の整備・支援 2億円 交通課

JR東日本が実施する、我孫子駅構内エレベーター等設置及びトイレ改修工事を支援します。

プロジェクト ⑤

誰もが生涯をとおして、健康で自立した生活を安心して送れるまちづくり

予防接種への補助 1億234万8000円 健康づくり支援課

○小児等任意予防接種費用助成事業 1853万2000円

小児インフルエンザ予防接種など任意予防接種の費用の一部を助成します。

○小児等任意予防接種費用助成事業（特別の理由による任意予防接種）3万7000円

骨髄移植等の影響により免疫が低下・消失した乳幼児等が、医師の判断に基づき予防接種を再接種する際の費用の一部を助成します。

○高齢者インフルエンザ等予防接種 8377万9000円

高齢者インフルエンザ予防接種と、法定の対象外となる年齢の高齢者への肺炎球菌予防接種への助成を行います。

高齢者への支援 1226万9000円 高齢者支援課

○生活支援体制整備事業の推進 924万4000円

生活支援コーディネーターを配置し、各種相談窓口と第一・二層協議体、地域の見守りネットワークの連携を強化します。

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 302万5000円

身近な場所で健康づくりに参加できる環境を整え、疾病予防・重症化予防を図るための体制を整えるとともに、計画策定・相談支援等を行います。

障害者への支援 4014万2000円

○障害者支援施設等の整備・充実 3960万円 障害福祉支援課

新たな就労継続支援B型事業所の整備に対して補助金を交付します。

○支援職員の技術の向上 54万2000円 あらき園

摂食嚥下障害に対する支援職員の技術の向上を目的とした講演会等を開催します。

オリンピック・パラリンピック事業

東京オリンピック・パラリンピック・聖火リレー推進事業 705万9000円

秘書広報課

7月3日、我孫子市内において行われる聖火リレーを、大いに盛り上げていきます。コカ・コーラボトラーズジャパンの協力もいただきながら、さまざまな取り組みを展開していきます。また、子どもたちに夢や希望を持ってもらう取り組みとして、千葉県内で開催される競技の観戦など、小中学生の参加機会を積極的に設けます。

その他の都市基盤整備

手賀沼公園・久寺家線の整備 1億3771万6000円 交通課

早期の開通を目指し、道路改良工事等を進めます。

土谷津地区の道路整備 1574万8000円 道路課

円滑な通行を図るため、道路整備のための用地取得及び雨水管整備工事等を実施します。

橋りょう長寿命化修繕事業 1億2329万7000円 道路課

橋梁長寿命化計画に基づき、定期点検と橋梁補修設計（2橋）を行います。また、引き続き、白山跨線人道橋の補修工事を進めます。

消防施設・総合訓練施設及び都市計画道路下ヶ戸・中里線外1線の整備

6031万9000円

○消防施設等整備事業 1964万円 消防本部総務課

東消防署湖北分署及び訓練施設の基本設計を行います。

○下ヶ戸・中里線外1線の整備 4067万9000円 交通課

都市計画道路下ヶ戸・中里線外1線の用地取得に向けた鑑定、擁壁の詳細設計を行います。

行財政改革の推進

行財政改革推進プランの推進 19万8000円 総務課

効率的で効果的な行政運営を推進するため、AIによる文字おこしの試験的運用を行います。

電算システムの運用 3億1197万6000円 情報政策課

令和4年1月から、第二期基幹システムの運用を開始します。また、市民サービスの向上を目的に、証明書のコンビニ交付やソフトウェアロボットによる業務の自動化に向けた整備を行います。

その他

総合計画の策定と進行管理（第四次総合計画の策定） 200万5000円 企画課

令和4年度を開始年度とする総合計画の策定を、引き続き進めます。令和3年度は、基本計画の策定を行います。

公共施設の老朽化への対応 4億5901万7000円

主な老朽化対策事業

- ・本庁舎冷却塔等更新工事
- ・近隣センター（布佐南、天王台北）の外壁改修工事、給排水の更新に向けた設計
- ・あらき園の屋根・外壁改修工事、食堂の空調設備等の更新に向けた設計
- ・休日診療所の外部改修と空調設備更新に向けた設計
- ・金谷排水機場の長寿命化に向けた設計
- ・東消防署の受変電方式変更工事、訓練塔修繕
- ・第三小学校及び布佐小学校の給水設備更新工事
- ・湖北中学校の給水設備更新工事、プールろ過器交換工事
- ・我孫子中学校の屋内運動場照明器具交換工事
- ・湖北地区公民館受変電設備更新工事
- ・白樺文学館空調設備更新工事 など

新型コロナウイルス感染症対策

市民の安全安心な生活を守るため、新型コロナウイルス感染症への対策を進めます。今後も状況に応じて、補正予算や予備費を活用して必要な事業を早急を実施していきます。

● 令和2年度補正予算からの主な繰越事業

中学校屋内運動場空調設備整備事業 2億493万2000円

教育総務部 総務課

中学校6校の屋内運動場に空調設備を整備します。

小中学校運営費 2309万円 学校教育課

衛生管理用の備品や消耗品を購入します。

学校図書館システム導入 3223万6000円 指導課

学校図書館の蔵書をデータベース化し、学習に必要な本の予約または他校の蔵書を含む検索をオンラインで可能とするため、学校図書館システムを導入します。

車両購入費 1892万6000円 図書館

子どもたちの学習活動に必要な図書が提供できるよう、小中学校への団体貸出を行うために必要な移動図書館車両を購入します。

放課後対策施設維持補修費 1018万2000円 子ども支援課

学童保育室及びあびっ子クラブの床を消毒作業が行いやすい環境に整備します。

● 令和3年度補正予算による主な対応

新型コロナウイルスワクチン接種体制等確保事業 8億4044万円

健康づくり支援課

接種体制を整備するとともに、千葉県及び市内医療機関と連携し、市民への接種を行っていきます。

PCR検査の実施 3222万円 健康づくり支援課

市内の小・中学校や保育園、幼稚園、特別養護老人ホーム等の福祉施設等において新型コロナウイルス感染症患者が発生した際に、保健所から濃厚接触者と判定されなかった方について、市がPCR検査を要すると判断した場合に、市独自の検査を実施します。

トイレ改修工事 1374万3000円

トイレ使用時の飛沫拡散を防止するため、和式便器を洋式に改修します。

○近隣センター等維持管理費 820万円 市民活動支援課

3つの近隣センターの和式便器計6基を洋式に改修します。

○行政サービスセンター管理事務費 149万4000円 市民課

2つの行政サービスセンターの和式便器計4基を洋式に改修します。

○公園施設整備事業 353万1000円 公園緑地課

3つの都市公園の和式便器計3基を洋式に改修します。

○施設維持補修費 51万8000円 図書館

図書館布佐分館の和式便器1基を洋式に改修します。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者補助事業 1785万円 保育課

私立保育園や私立幼稚園（幼稚園型認定こども園）に対し、通常保育や延長保育で使用するマスクなどの物品購入等に係る費用を補助します。

PCR検査等費用助成費 995万5000円

○一般事務費 653万5000円 高齢者支援課

65歳以上の市民の方のうち、高齢者施設へ新規入所が決定した方が本人の希望によりPCR検査又は抗原定量検査を行う場合に、検査費用の一部を助成します。

○障害者居宅生活支援事業 342万円 障害福祉支援課

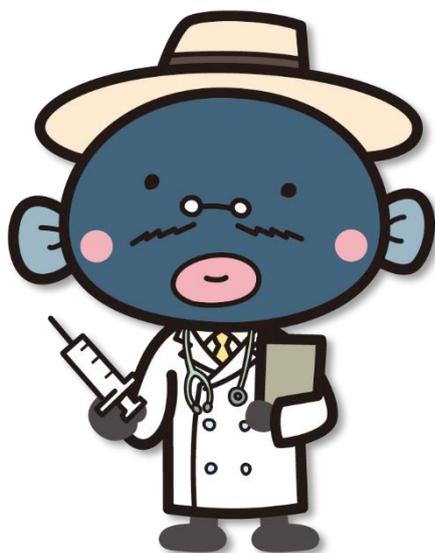
一定の基礎疾患を有する方が本人の希望によりPCR検査又は抗原定量検査を行う場合に、検査費用の一部を助成します。

放課後対策施設維持補修費 1522万3000円 子ども支援課

並木小・湖北台西小・布佐小学童保育室の空調設備を更新します。

救急・救助活動費 1027万5000円 警防課

搬送用アイソレーター3式やオゾン殺菌庫4台などを購入します。



基金残高

基金は、特定の目的のために資金を積み立て、運用するために設けられています。

主な基金の推移は次のとおりです。

★一般会計において資金管理を行うもの

基金名	令和元年度 決算残高	令和2年度 決算見込残高	令和3年度末 現在高見込
財政調整基金	21億2600万円	23億4670万円	17億7570万円
減債基金	2億4250万円	2億4260万円	2億4260万円
公共施設整備基金	2130万円	1550万円	1550万円
ふるさと手賀沼ふれあい計画推進基金	4610万円	5920万円	6084万円
国際・平和交流推進基金	4520万円	4510万円	4510万円
成田線輸送力強化等整備基金	260万円	290万円	290万円
森林環境譲与税基金	505万円	598万円	1190万円
社会福祉事業基金	2億6200万円	2億5850万円	2億5209万円
清掃工場建設基金	15億6400万円	14億4780万円	11億6610万円
緑の基金	9050万円	8350万円	6420万円
スポーツ振興基金	4220万円	2470万円	2475万円
文化施設整備基金	6億6710万円	6億6810万円	6億6860万円
文化財保存基金	740万円	720万円	434万円
めるへん文庫基金	7760万円	7833万円	7669万円
教育振興基金	265万円	637万円	648万円
災害対策基金	4980万円	3210万円	2922万円
合計	52億5200万円	53億2458万円	44億4701万円

※財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するための積立金

※減債基金・・・市債返済のための積立金

★各特別会計において資金管理を行うもの

基金名	令和元年度 決算残高	令和2年度 決算見込残高	令和3年度末 現在高見込
国民健康保険事業 財政調整基金	4億7008万円	2億3735万円	1285万円
介護保険 財政調整基金	12億2048万円	12億8881万円	12億257万円

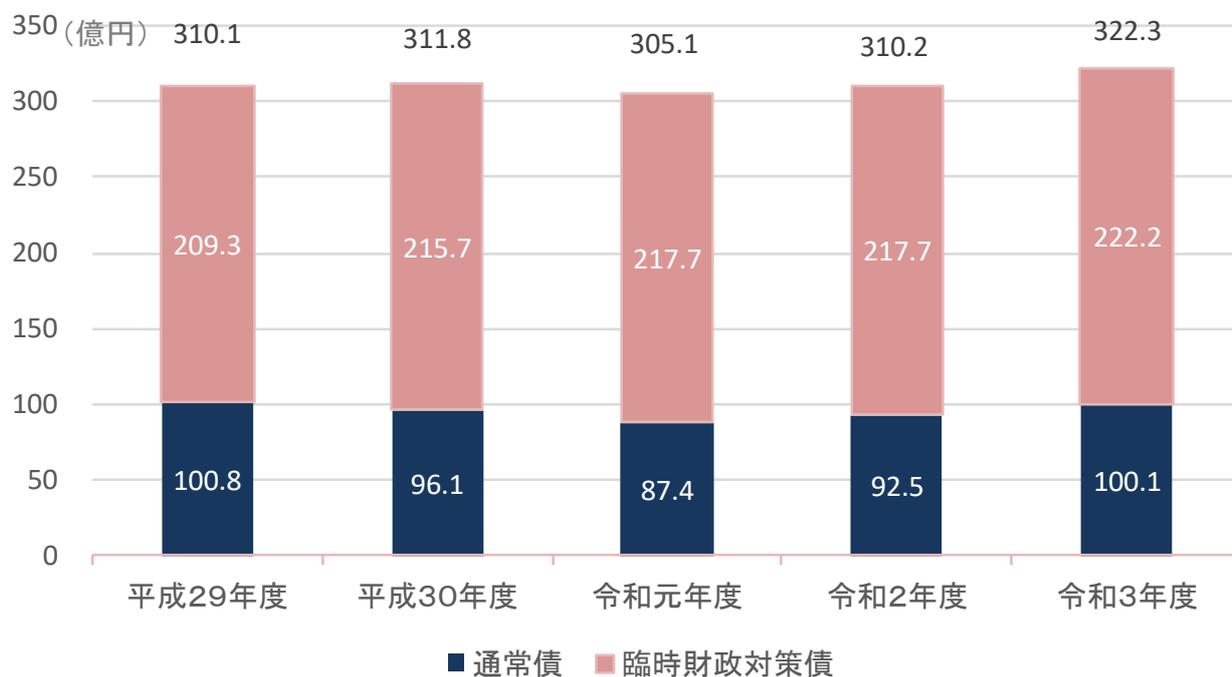
・ 市債の借り入れ状況

市債は、施設整備や用地取得の費用などに充てるため、県知事の同意を受けたうえで財務省、地方公共団体金融機構、民間金融機関などから借り入れる資金です。

(1) 市債残高の推移

市債残高の推移は次のとおりです。

区分	令和元年度 決算残高	令和2年度 決算見込残高	令和3年度末 現在高見込
一般会計残高	305億1507万円	310億1578万円	322億2800万円



(2) 一般会計市債借入額の推移

一般会計における市債借入額の推移は次のとおりです。

区分	令和元年度 決算額	令和2年度 決算見込額	令和3年度 予算額
一般会計歳入総額・A	390億5951万円	565億5300万円	463億8000万円
一般会計市債借入 (見込)額・B	22億6280万円	34億9290万円	42億8930万円
臨時財政対策債	17億500万円	16億1920万円	22億円
通常債	5億5780万円	18億7370万円	20億8930万円
市債依存度・B/A	5.9%	6.2%	9.2%

※通常債は、臨時財政対策債以外の市債

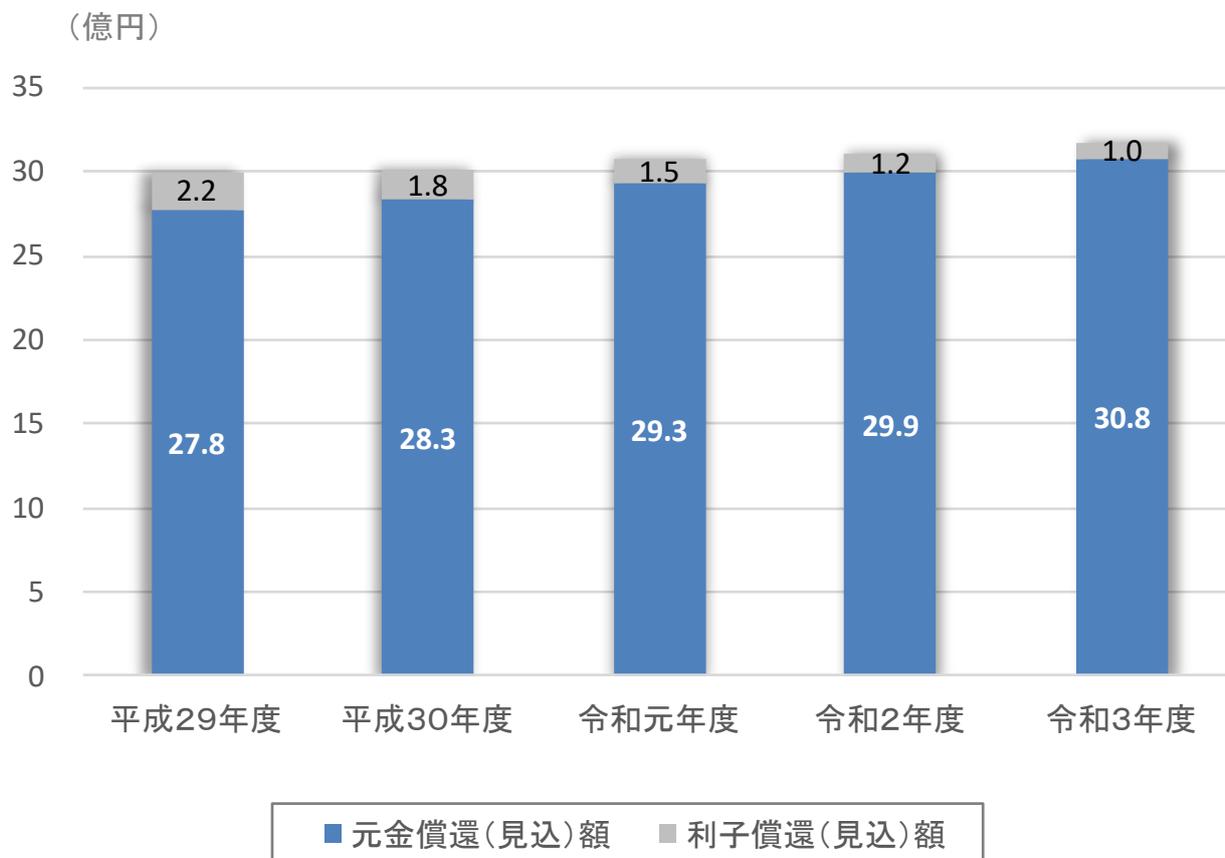


(3) 一般会計公債費償還額の推移

一般会計における公債費償還額の推移は次のとおりです。

区分	令和元年度 決算額	令和2年度 決算見込額	令和3年度 予算額
元金償還（見込）額	29億2951万円	29億9219万円	30億7709万円
利子償還（見込）額	1億5223万円	1億1962万円	1億34万円
合計	30億8174万円	31億1181万円	31億7743万円

※令和3年度予算額のうち、「利子償還（見込）額」欄は、一時借入金に係る利子（1050万円）を除いているため、予算額と一致しません。



令和3年度下水道事業会計予算

当初予算総事業予算額は45億7615万円

下水道事業会計は、使用料収入などを財源として汚水・雨水の処理を行う独立した会計です。

令和3年度は前年度に対して減価償却費や流域下水道維持管理負担金等の増加により下水道事業費用が増となり、企業債元金償還金等の減少により資本的支出が減となりました。

1 業務の予定量

	令和3年度 予定業務量	令和2年度 予定業務量	対前年度増減率
排水区域内人口	11万1638人	11万1549人	0.1%
年間有収水量	1052万 ^m	1049万 ^m	0.3%

2 収益的収支（下水道料金等収入や汚水・雨水を処理するための費用の収支）

	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度増減率
下水道事業収益	29億1723万円	27億8548万円	4.7%
下水道事業費用	26億3973万円	25億7834万円	2.4%

3 資本的収支（下水道施設の建設・更新等にかかる収支）

	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度増減率
資本的収入	13億866万円	14億3163万円	△8.6%
資本的支出	19億3642万円	20億7512万円	△6.7%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、内部留保資金等で補てんします。

<下水道事業会計に関する問い合わせ>

下水道課 経営担当 内20-584

令和3年度水道事業会計予算

当初予算総事業予算額は34億5653万円

水道事業会計は、必要な経費を水道料金収入などで賄う独立した会計です。

いつでも安全で十分な水道水を確実に供給していくために、令和3年度も、水道事業基本計画に基づいて、浄水場設備や管路の更新などに取り組みます。

1 業務の予定量

	令和3年度 予定業務量	令和2年度 予定業務量	対前年度増減率
給水戸数	5万7183戸	5万7460戸	△0.5%
年間総給水量	1265万 ^m	1215万 ^m	4.1%

2 収益的収支（水道料金収入や水道水を届けるための費用の収支）

	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度増減率
水道事業収益	27億8023万円	27億5636万円	0.9%
水道事業費用	24億9011万円	25億2372万円	△1.3%

3 資本的収支（水道施設の建設・更新等にかかる収支）

	令和3年度 予算額	令和2年度 予算額	対前年度増減率
資本的収入	2億7910万円	4億1250万円	△32.3%
資本的支出	9億6642万円	11億5297万円	△16.2%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、内部留保資金などで補てんします。

<水道事業会計に関する問い合わせ>

水道局 経営課 TEL 04-7184-0114